



■ 星美ホーム沿革

1929 (S.4) 年 12月	サレジアンシスターズ5名の宣教女がイタリアから来日。
1939 (S.14) 年 4月	九州別府から上京。
1948 (S.23) 年 1月	東京都知事より養護施設認可。養護施設児童定員320名 乳児院定員29名。
1991 (H.3) 年 4月	男児受入開始。
1994 (H.6) 年 4月	児童定員165名に変更。
1995 (H.7) 年 4月	グループホーム開設。
2003 (H.15) 年 4月	心理室設置。高齢児童棟の個室化工事に入る。
2005 (H.17) 年 1月	北区子どもショートステイ・トワイライトステイ事業実施。
2009 (H.21) 年 5月	東京都専門機能強化型児童養護施設開始。
2014 (H.25) 年 4月	施設長 熊本幸子就任。
2016 (H.28) 年 4月	児童定員84名(本園84名・地域小規模施設12名)

■ 理念

社会福祉法人扶助者聖母会「星美ホーム」は、児童福祉法に基づく児童養護施設として、社会的養護が必要な児童のために、専門的に対応できる施設を目指す。

子どもたち一人一人が愛されていると感じ、善良で誠実な社会人となれるよう、創立者ヨハネ・ボスコの精神に基づく「通じる愛」を実践する。

■ 基本方針

「通じる愛」の実践。子どもを愛するだけでは足りない。子どもが愛されていると感じないといけない。

- ① 理性 ・子どもが自分自身を知り、受け入れ、大切にできるように関わる。
・子どもが自分自身で選択、決定し、責任がとれるように援助する。
- ② 宗教 ・子どもがいのちを守り、育むように関わる。
・キリスト教的な価値観も持って教育する。
- ③ 慈愛 ・子どもが日々の暮らしの中で大切にされ、愛されていると感じられるように関わる。
・家族、地域や社会とのつながりの中で生きる力を育むように援助する。

■ 体験学習

野外活動を中心とする体験学習は、子どもが物事に本気・本音で挑戦したときに、これまでの自分やこれからの自分を見つめるきっかけにして、もらいたいと考えています。困難な状況の中で耐えることや、地道に積み重ねる行為を避けてしまう子ども達自身の経験のなさが、自己肯定感の欠如につながっているものと考えられます。体験学習では、その側面を補い、その状況が自然と変化する野外活動の中で、自己確認・自己決定・自己表現・自己責任という一連の意思決定を繰り返し、その中で自己像の発達、グループワークの形成などを目指しています。



■ 施設定員

定員：本園84名・地域小規模施設12名
分園：グループホーム3棟(女子各定員6名)
本園：居室構成(6名から8名のユニットケア)
幼児部：2クラス
女子部：3クラス
男子部：5クラス

■ 職員構成

園長 副園長 ファミリーソーシャルワーカー 主任ケアワーカー
自立支援コーディネーター 治療指導員 看護師
里親支援専門相談員 ケアワーカー(保育士・児童指導員)
事務職員 栄養士 調理員 臨床心理士 嘱託内科医
嘱託児童精神科医

SEIBI HOME

Social Welfare Corporation
Supporter's Church





子どもたちの生活を支える 援助者の法的理念

・児童憲章

- 前文 1. 児童は人として尊ばれる。
2. 児童は社会の一員として重んじられる。
3. 児童は良い環境の中で育てられる。

・児童福祉法第41条(児童養護施設の目的)

・子どもの権利条約第20条

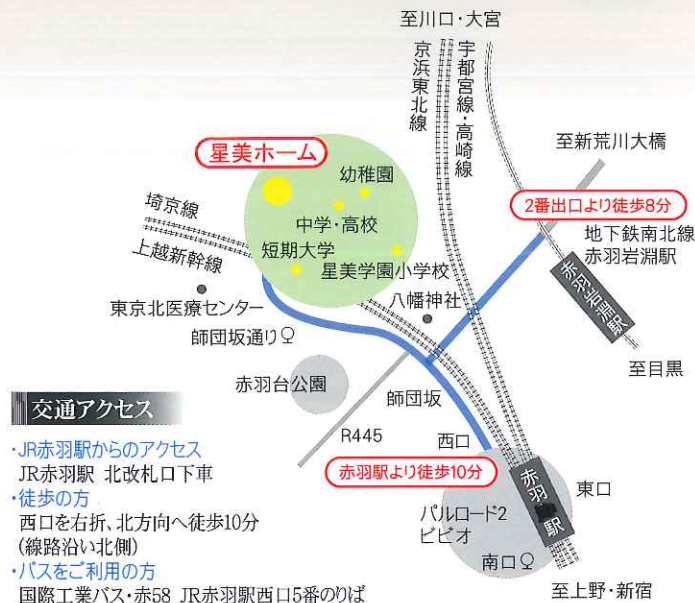
(家庭環境を奪われた子どもの養護)

・児童虐待防止法第3条(児童に対する虐待の禁止)

愛情なければ信頼なく
信頼なければ教育はなし

年間行事

クラス遠足・百名山登山・特別支援プログラム活動
キャンプ(幼児・小学生低学年・小学生高学年・中学生女子)
合宿等・ホーム運動会・クリスマス会・創立者の記念日
心のふるさと同窓会・卒園生を送る会



交通アクセス

- ・JR赤羽駅からのアクセス
JR赤羽駅 北改札口下車
- ・徒歩の方
西口を右折、北方向へ徒歩10分
(線路沿い北側)
- ・バスをご利用の方
国際工業バス・赤58 JR赤羽駅西口5番のりば
東京北医療センター行き師団坂通り下車すぐ
- ・赤羽岩淵駅からのアクセス
地下鉄南北線・埼玉高速鉄道
- ・赤羽岩淵駅下車
2番出口より徒歩8分

SEIBI HOME

Social Welfare Corporation
Supporter's Church.



社会福祉法人
扶助者聖母会 **星美ホーム**

〒115-0053 東京都北区赤羽台4丁目2番14号
電話：(03)3906-2711 FAX：(03)3906-2606